

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゆういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

あんようじうらやまきょうづかぐん

安養寺裏山経塚群

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



場所

くらしまし あさぼら
・倉敷市浅原



時代

へいあん じだい
・平安時代



指定年月日

しょうわ
・昭和35(1960)年
8月23日



所有

あんよう じ
・安養寺



し せき

この史跡について

あんよう じ

しんごんしゅう

きょうづかぐん

さんぶく

安養寺は倉敷市の北部に位置する真言宗の古い寺です。この経塚群は、寺の背後の山腹に存在し、第1から第3経塚まであります。

きょうづか

へいあん じ だい

まっぼうし しょう

えいきょう

きょうもん

きざ

かわら

経塚とは、平安時代の末法思想の影響により設置されたものです。経文を刻んだ瓦を土の中に埋めて後の世に遺すという善い行いをすることで、死んだ後に極楽に生まれたいと願って設置されました。

じゅうようぶん かざい

きょうかわら

どせいとう

ばがたほっけきょうだいせん

どせいほうとう

第1経塚からは国の重要文化財に指定されている経瓦・土製塔婆型法華経題箋・土製宝塔が出土しています。

かわらせいきょうづつ

たんじょうぶつ

とう

ばがたきょうがわら

第2経塚からは瓦製経筒・誕生仏などが、また第3経塚からは塔婆形経瓦などが見つかります。